



年越し奉納 荘厳華麗に舞う

～豊玉姫神社の神舞～



1月1日、豊玉姫神社の境内で神舞が奉納されました。

これは、豊玉姫神社の神舞を伝承・保存している下郡文化財青壮年団が行ったもので、今年が初めての試みです。

年が明けた午前0時より神事を行い、その後荒神舞、宮毘舞、鬼人舞、田の神舞が奉納されました。

荘厳で優雅な踊りは、初詣に来ていた観衆らを魅了しました。

～令和5年南九州市「二十歳のつどい」～

新たな決意を胸に！

1月3日、知覧文化会館で「二十歳のつどい」が開催され、248人が参加しました。民法改正により成年年齢が18歳に引き下げられたことに伴い、従来の成人式から名称変更して初の開催です。

式典は、実行委員長の大坂申羽さんのあいさつで始まり、代表スピーチでは実行委員の大迫渉さんと松元結さんが、決意の言葉や今後の抱負、家族や周囲の方々への感謝の気持ちを述べました。



二十歳のつどい実行委員の皆さん

～出身中学校別の記念写真～



顛娃中学校



川辺中学校



青戸中学校



知覧中学校



別府中学校



～下窪一輝さん、米満憲一さん、瀬川浩三さん～

秋の叙勲・褒章受章



12月2日、令和4年秋の叙勲・褒章を受章された顕娃地域の3人が市長を表敬訪問しました。

秋の叙勲で旭日双光章を受章された元市議の下窪一輝さんと瑞宝単光章を受章された元市消防団副団長の米満憲一さんは、住民福祉の向上や地域の活性化に大きく貢献した功績が認められたものです。

また、農商工などの業務で模範となる技術や実績を持つ人に授与される黄綬褒章を受章された瀬川浩三さんは、長年にわたる地元への教科書供給業の功績が認められたものです。

～ヒルフィールドカンパニーが県コンクール受賞～

イモバタ会議ヒットする！



この度、かごしまの新特産品コンクールにおいて、ヒルフィールドカンパニーの「イモバタ会議」が、県観光連盟会長賞を受賞しました。同賞は、応募の中から観光土産品にふさわしいものへ送られます。

イモバタ会議はサツマイモとバターを使ったジャムです。経営者の岡野さんは「南九州市のイモを使った商品をお土産物として今後も生み出していきたい」と抱負を語りました。今後も新たな特産品を通して、南九州市の認知向上が期待されます。

～江平征郎さんより～

ながせ ぼうしゅう

長瀬望秋作「色彩魚拓」の寄贈



11月16日、知覧地域の江平征郎さんより、長瀬望秋さんの作品である色彩魚拓2点の寄贈がありました。

寄贈いただいた色彩魚拓は、作者と親交のあった江平さんが譲り受けた物で、作品を後世に伝えて欲しいという思いから、市に寄贈したものです。

寄贈された色彩魚拓は、今後、知覧文化会館に展示し、本市の芸術文化の振興に活用させていただきます。なお、色彩魚拓と併せて「南極色彩魚拓図録」1部も寄贈されました。

～外園千尋さん(川辺仏壇伝統工芸士)～

伝統的工芸品産業功労者表彰



仏壇時絵師として活躍される外園千尋さんが、「令和4年度伝統的工芸品産業功労者九州経済産業局長賞表彰」を受賞されました。外園さんは、昭和53年より時絵師の職に就かれ、これまで伝統工芸士として東日本大震災で被災した方への小型仏壇製作での時絵装飾、国民体育大会のトーチ装飾、川辺小学校での時絵体験講師を務めるなどさまざまな活動を通じて仏壇産地振興に寄与されています。

受賞を機に今後ますますの活躍が期待されます。



～植樹体験活動～

自然環境保全の大切さ学ぶ



12月10日、颯娃地域の前原海岸で、海岸線の環境保全や森林環境教育を目的とした植樹体験活動が行われました。

当日は市内の緑の少年団や颯娃高校生、また地元住民など約100人が参加し、関係団体協力のもと抵抗性マツ450本を植樹、その後、海岸のゴミ拾いを行いました。

参加者からは『枯れずに元気に育てほしい！』などの声が聞かれ、海岸林の役割や自然環境保全の大切さについて理解を深めることができました。

～新春ピアノイベント2023～

特攻隊員をしのび平和を願い奏でる



1月1日、知覧特攻平和会館で、ロビーに展示してあるフッペル社製のピアノを演奏するイベントが開催されました。

これは、特攻隊員をしのび平和を願うことを目的として行われたもので、今年で2回目となります。

演奏者は、応募のあった中から選ばれた、13歳から50歳代の5人（県内4人、千葉県1人）です。

来館者は、館内に響き渡る素晴らしい音色に聞き入っていました。

～8020達成者表彰～

今年度は12人が推薦されました！



12月21日、80歳以上で自分の歯を20本以上持つ「8020達成者」で南薩歯科医師会の先生方から推薦された方に対し表彰を行いました。

「生涯、自分の歯で食べる楽しみを味わえるように」という願いから、厚生労働省・日本歯科医師会では、80歳になっても20本以上自分の歯を保とうという「8020運動」を推進しています。

今年度は12人の方が推薦され、10人の方が表彰式に出席しました。

～学校給食地場産物活用事業～

サイコロステーキに舌鼓！



学校給食センターでは、地産地消を推進するため、保護者が負担する給食費とは別に、市の予算により、かわなべ牛・からいもち・メロンなどの地元食材を学校給食に提供しています。

11月29・30日には、「かわなべ牛のサイコロステーキ」を献立に取り入れました。

児童は、「やわらかくて、おいしい！また、食べたい」ととても満足そうでした。

学校給食センターでは、今後も地元産の食材を活用したおいしい給食を提供していきます。